

## 大学名：金沢大学

ASPUnevNet の 4つの機能他	評価項目	事例記述
1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します (加盟に関する相談も含む)	① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	・金沢市内小学校のユネスコスクール申請に際し、相談対応を行った。
	② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	・金沢市立朝霧台小学校のチャレンジ期間入りに際し、取り組み方や評価観点などについて、具体的に説明、実践相談を行った。
	③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	<p>主に北陸三県のユネスコスクールに対し、実践改善支援、教員等研修、実践交流支援、成果広報の機会作り等を行った。</p> <p>・令和 5 年度ユネスコ活動費補助金事業などにより、ESD を実践する教育委員会や学校教員を対象に、実践編・教育経営編のオンライン教材を開発・活用し、研修機会の創出、主体的に研修できるシステムを構築している。オンラインと対面を組み合わせることで教員、学生、研究者、地域関係者等がともに学び合うコミュニティを形成することを目指して、取り組みを継続している。</p> <p>取り組みは Web にて、継続発信している。<a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a></p>
2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します	① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	<p>・問合せに応じて、これまで関わった実践についての資料提供、製作したテキスト、実践事例集等の配布を行っている。</p> <p>・講習、講座講師の要請に対し、北陸 ESD コンソーシアム・コーディネーターを中心として関係する専門に関わる人材の紹介・仲介・派遣を行った。</p> <p>・要請に応じ、ワークショップ型研修等を行った。(オンライン・対面型いずれも)</p>
	② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	<p>・北陸三県それぞれでの実践交流会を主催・共催した。</p> <p>・教育委員会・教員総合研修センター、ユネスコスクール等からの研修要請に応じ、研修・ワークショップを実施した。(対面・オンラインいずれも)</p> <p><a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</a></p>
	③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	<p>・令和 5 年度ユネスコ活動費補助金事業等により、ESD を実践する教育委員会や学校教員を対象に、実践編・教育経営編のオンライン教材を共同で開発・活用し、研修機会の創出、主体的に研修できるシステムを構築している。オンラインと対面を組み合わせることで教員、学生、研究者、地域関係者等がともに学び合うコミュニティを形成することを目指して、取り組みを継続している。</p> <p>取り組みは Web にて、継続発信している。<a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a></p>

3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します	① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	・実践交流会・研修会等の開催情報の送信、参加の呼びかけの他、ユネスコスクール、ESD 等に関わる問合せに対して回答・資料送付等を行った。
	② ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	・ユネスコスクールと地域の企業・団体等との連携支援を行っている。実践事例参照↓ <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a>
	③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	・主に北陸三県域内の県・市町教育委員会と連携し、実践支援、実践交流支援等を継続実施している。 ・各教育委員会から、ユネスコスクール、SDGs・ESD に関わる取組、研修等についての実施実態を報告いただき、取り纏めを行っている。
4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します	① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	・北陸 ESD コンソーシアム Web において、北陸三県での SDGs・ESD 実践事例について、研修等で使用可能な教材の形で提供している。 ・実践交流会、成果報告会などオンライン型会議・研修について、諸機関の協力を得て広く参加募集を行い、北陸三県外からの参加を得ることができた。
	② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	・主催した実践交流会、成果報告会において、県外ユネスコスクール関係者の参加があり、協議等を行うことができた。 ・金沢大学教員が実践交流先の県外学校において授業研修等を実施した。
	③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	・(複数年継続) 北陸地域の学校とアジア各国の海外学校との交流支援を行った。
5. 大学内の活動	① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	・活動について、講義や Web 等を通して周知をはかっている。
	② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	・共通教育、及び、学校教育学類、教職実践研究科などにおいて、SDGs・ESD に関わる講義を実施している。
	③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連	・北陸 ESD コンソーシアム成果報告書において、各年度の関わるユネスコスクールの実践事例や

	した調査研究を行うことができた。	研修等についての取り纏め、報告等を行っている。 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</a>
	④ その他	・金沢大学、北陸 ESD コンソーシアム（金沢大学に事務局設置）の活動の具体例については、独自の Web サイトにて情報を発信しているので、参照いただきたい。 <a href="https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/">https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</a>
6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用	① 加盟大学間で情報共有ができた。	・全国の ESD コンソーシアム間での e ラーニング教材やオンライン講座などの教育的リソースの共有、共用の推進について、北陸 ESD 推進コンソーシアムが呼びかけ、今年度 6 地区の ESD コンソーシアムで連携協議会を複数回開催し、コンソーシアム間での共有、共用に向けた情報交換、協議を行った。
	② 加盟大学間で連携した取組ができた。	・全国の ESD コンソーシアム間での e ラーニング教材やオンライン講座などの教育的リソースの共有、共用の推進について、北陸 ESD 推進コンソーシアムが呼びかけ、今年度 6 地区の ESD コンソーシアムで連携協議会を複数回開催し、コンソーシアム間での共有、共用に向けた協議を行った。今後も継続して協議し、連携の実体化をはかる。
	③ その他	